

経済・金融
フラッシュユーロ圏失業率(2024年3月)
—失業率は6.5%で横ばい推移

経済研究部 主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

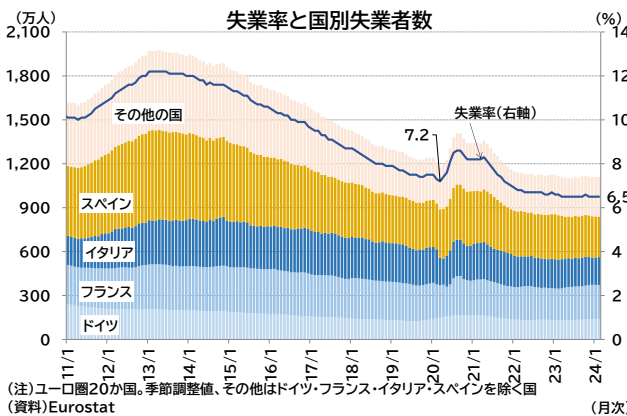
1. 結果の概要: 6.5%で横ばいの失業率が続く

5月3日、欧州委員会統計局（Eurostat）はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

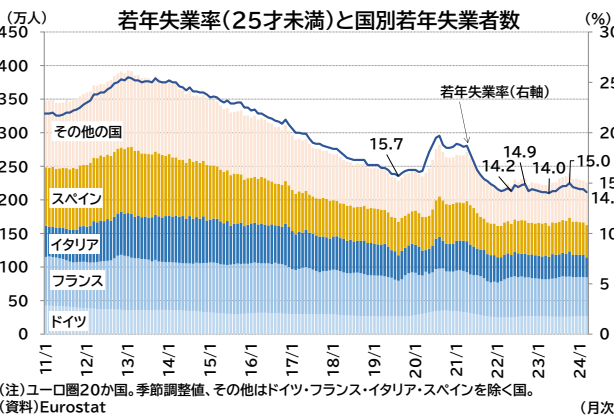
【ユーロ圏失業率（20か国、2024年3月、季節調整値）】

- ・失業率は6.5%、市場予想¹（6.5%）と一致、前月（6.5%）から横ばいとなった（図表1）
- ・失業者は1108.7万人となり、前月（1118.1万人）から9.4万人減少した

(図表1)



(図表2)



2. 結果の詳細: 若年失業率はコロナ禍後の最低値付近まで低下

ユーロ圏（20か国）の3月の失業率は6.5%となり、2月（6.5%）から横ばいとなった。23年11月以降、5か月連続で統計データ公表以来の最低値である6.5%で推移したことになる。なお、2月以前のデータにはほぼ改定がなかった。

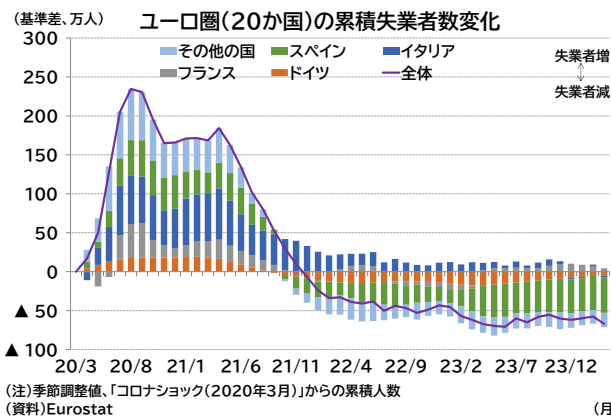
失業者数は3月の前月差で9.4万人減となり、23年12月以来となる減少だった（図表3・4）。主要4か国では、ドイツ（0.7万人）が増加する一方で、イタリア（▲5.3万人）、フランス（▲2.1万人）、スペイン（▲1.3万人）が減少している。

3月の若年失業率は14.1%となり、2月（14.4%）から低下、23年4月に記録したコロナ禍後の最低値（14.0%）近くに迫った（前掲図表2）。また、若年失業率の過去データはやや改善方向に改定された（1月14.6→14.4%、2月14.6→14.4%）。若年失業者数は3月で225.9万人（前月差▲

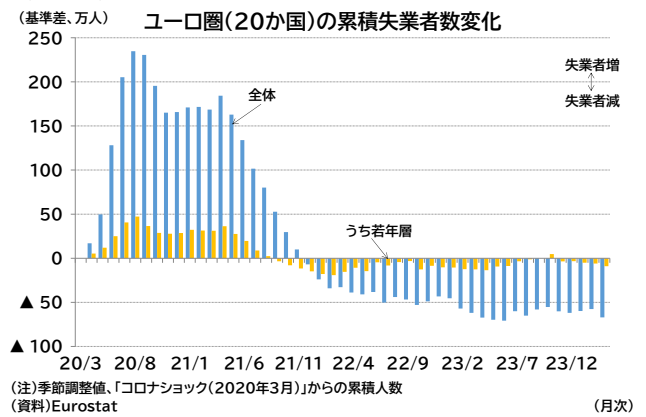
¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

3.0万人)となり3か月連続の前月比減少となった。若年失業者数の水準はコロナショック直前(20年3月の234.9万人)をやや下回る状態で推移している(図表4)。

(図表3)

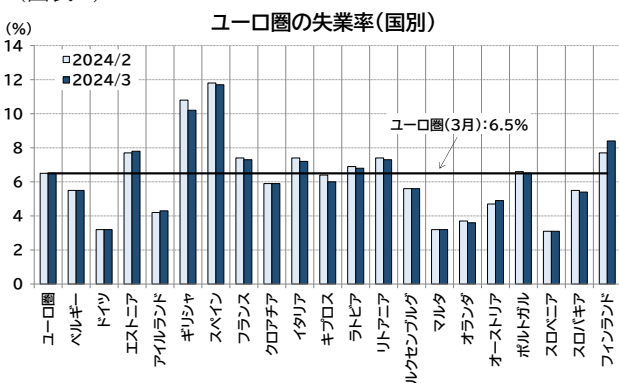


(図表4)

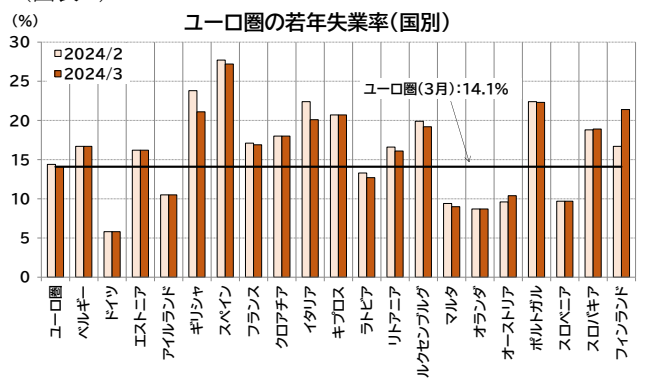


国別の3月のデータを見ると、失業率は20か国中、悪化した国が4か国、改善が10か国、横ばいが6か国となり、やや改善した国が多かった(図表5)。若年失業率も悪化した国が3か国、改善が9か国、横ばいが8か国と改善した国が多かった(図表6)。

(図表5)

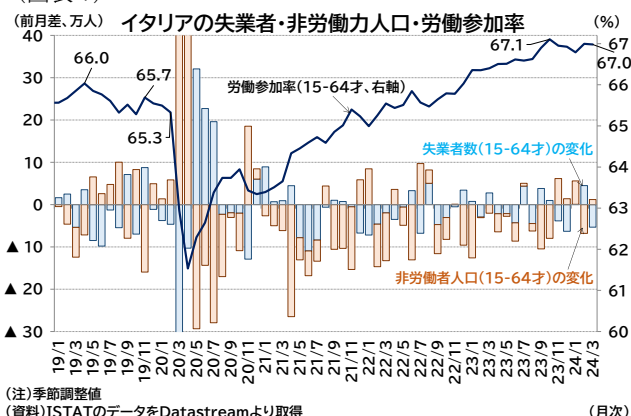


(図表6)

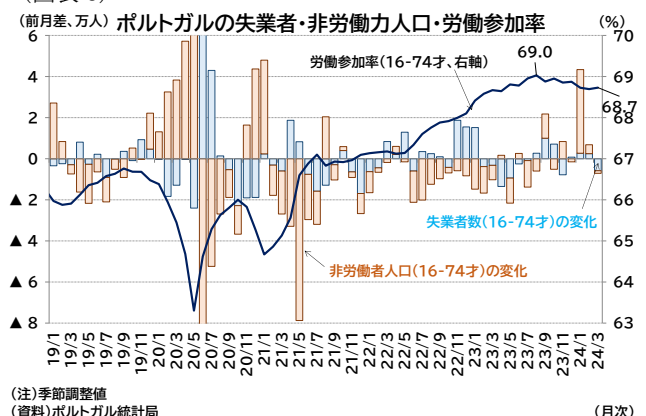


最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは失業者が減少、非労働力人口と就業者が増加した(図表7)。ポルトガルは失業者と非労働力人口が減少し、就業者が増加した(図表8)。いずれの国も良好な労働市場が維持されており、労働参加率はコロナ禍後のピークと比較するとやや低い水準にあるものの、過去と比較して高水準を維持している。

(図表7)



(図表8)



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。